



望ノ社の影絵体験ワークショップ

望ノ社の影絵はとてもユニーク。
スクリーンの裏側ではなく、観客の目の前で、すべての影絵を操作します。
アニメーションの原点ともいえるようなライブ感溢れる影絵の魅力は
幅広い世代を惹きつけてやみません。

このワークショップでは、そんな望ノ社の影絵を、製作から操演まで体験してもらいます。
手作りした影絵人形を、最後に参加者全員で音楽に合わせ実演してみましょう。

影絵を体験してみたい方、望ノ社の作品制作過程をもっと知りたい方へ
影絵劇公演のご観劇とあわせて、ぜひご参加ください！

左：アルメニア・演劇フェスティバルでの影絵ワークショップの様子(2018年10月)

右：イギリス・ロンドン人形劇学校にて、影絵劇特別講座受講中の様子(2019年8月)

下：東京・ブーク人形劇場での影絵ワークショップの様子(2019年10月)



望ノ社の影絵体験ワークショップ

人形劇団望ノ社

2026 年 6 月 (第 6 版)

1. ワークショップの特徴

- ◇ スーツケース 1 つでどこへでも出張。教室、会議室、マンションの集会室など、どんな場所でも講師が訪問し、約 2 時間の影絵制作 & 実演ワークショップを実施します。
- ◇ ワークショップでは、影絵用のスクリーンと、望ノ社オリジナルの影絵人形キットを使って、影絵を製作。その後さらに、自分たちオリジナルの影絵人形まで作ってしまうという、盛りだくさんの内容です。
- ◇ 特別な道具は一切不要。ワークショップで作った影絵キットを持ち帰って、後日自分たちで創作の続きを楽しめます。
- ◇ 60 分のショートバージョンもあります。個別にお問合せくださいませ。

2. ワークショップのコンテンツ

コンテンツ		目安時間	詳細内容
1	あいさつと自己紹介	5 分	あいさつと、ワークショップ講師の自己紹介をします。
2	影と光のひみつ	5 分	影絵の基本的な知識（下記）を、実演を交えて説明します。 ・距離による影と光の関係 ・影絵に色をつける ・複数の光源を使ったときの影のでき方 ・影絵に最適な光源とは？
3	スクリーンと人形の制作	90 分	影絵制作キットを使い、影絵スクリーンと、2 種類の影絵人形を制作します。影絵人形のうち 1 種類目は付属の型紙を利用します。もう 1 つは参加者が自由に絵を描いて、オリジナル人形を作成します。
4	影絵人形の発表	10 分	完成した影絵人形を、参加者皆の前でお披露目。自分が作った人形が、いったいどんな影になるのか！？ドキドキの瞬間です。
5	実演！影絵であそぼう	10 分	参加者皆が、完成した影絵人形とスクリーンを使って、音楽にあわせて、影絵を実演してもらいます。
6	質問コーナー	残時間	余った時間を使って、ワークショップの中の質問に答えます。 最後にあいさつして、終了です。

3. ワークショップ実施要項

所要時間	約 120 分	講師人数	1 名
料金	講師料 17,000 円（税別）＋ 交通費（実費） ※影絵制作キットの材料費（1 セットにつき税別 650 円）が別途かかります。		
最大受講者数	15 名 ※受講者数とは、保護者など、同伴の方の人数は除いた人数です。同伴者をあわせた最大参加人数は、なるべく 20 名程度になるよう調整してください。 ※人数がこれより多くなる場合、広い会場にした上で講師を 1 名追加するか、実施回数を増やす、といった調整対応をお願いしております。		
対象年齢	6 歳以上 ※小学生低学年以下のお子様には、保護者の方の同伴が必要です。		
会場要件	・窓にカーテンがついていること（できれば遮光カーテン、難しければ普通のカーテン） ・受講者全員が座って作業できる環境 ・発表用の机もしくは台（幅 1m 以上、×奥行き 50cm 以上、高さ 40cm 以上） ・ホワイトボードもしくは黒板		
こちらで用意するもの	◆影絵制作キット ※1 セットにつき 650 円(税別) ①影絵スクリーンキット 型紙、スクリーン用の紙 ②望ノ社オリジナル影絵人形キット（全部で 10 種類。当日皆さんに選んでいただきます） 人形パーツ、竹ひご、組立て部品（割りピン、ハトメ） ④参加者オリジナル影絵人形の製作キット 厚紙、竹ひご、組立て部品（割りピン、ハトメ） 色付け用のセロファン（赤、青、黄色、緑、透明） ◆影絵制作用の道具 人数分のデザインナイフとカッターマット、セロテープ、穴あけパンチ、その他必要な道具		
用意してもらうもの	筆記用具（えんぴつ、消しゴム、ペンなど）、ハサミ、セロテープ、のり 懐中電灯、スマートフォン（影絵用ライトとして使えます。） 油性カラーマジック、ホワイトボード（あれば） ※上記はこちらでも予備を用意いたします。 影絵キット持ち帰り用の袋（A3 が収まるサイズがちょうどいいです。必須ではありません。）		

5. 過去のワークショップ実施の様子

